

7-5 北陸・中部地方の地殻変動

Crustal Movements in the Hokuriku and Chubu District

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

[水準測量]

第1図は、柏崎市から長岡市に至る水準路線の上下変動である。交点 交 3745 周辺で沈下が見られるが、交 3745 は、中越沖地震前に 3cm 強の沈下、2007 年 7 月の中越沖地震直後にも 2.5cm の沈下を観測した。これを除けば、目立った上下変動は見られない。3 段目は、2007 年 7 月 16 日の平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震（M6.8、最大震度 6 強）に伴う断層運動に伴う上下変動である。

第2図は中京地方の水準測量結果である。顕著な変動は見られない。

[EDM 辺長 跡津川断層]

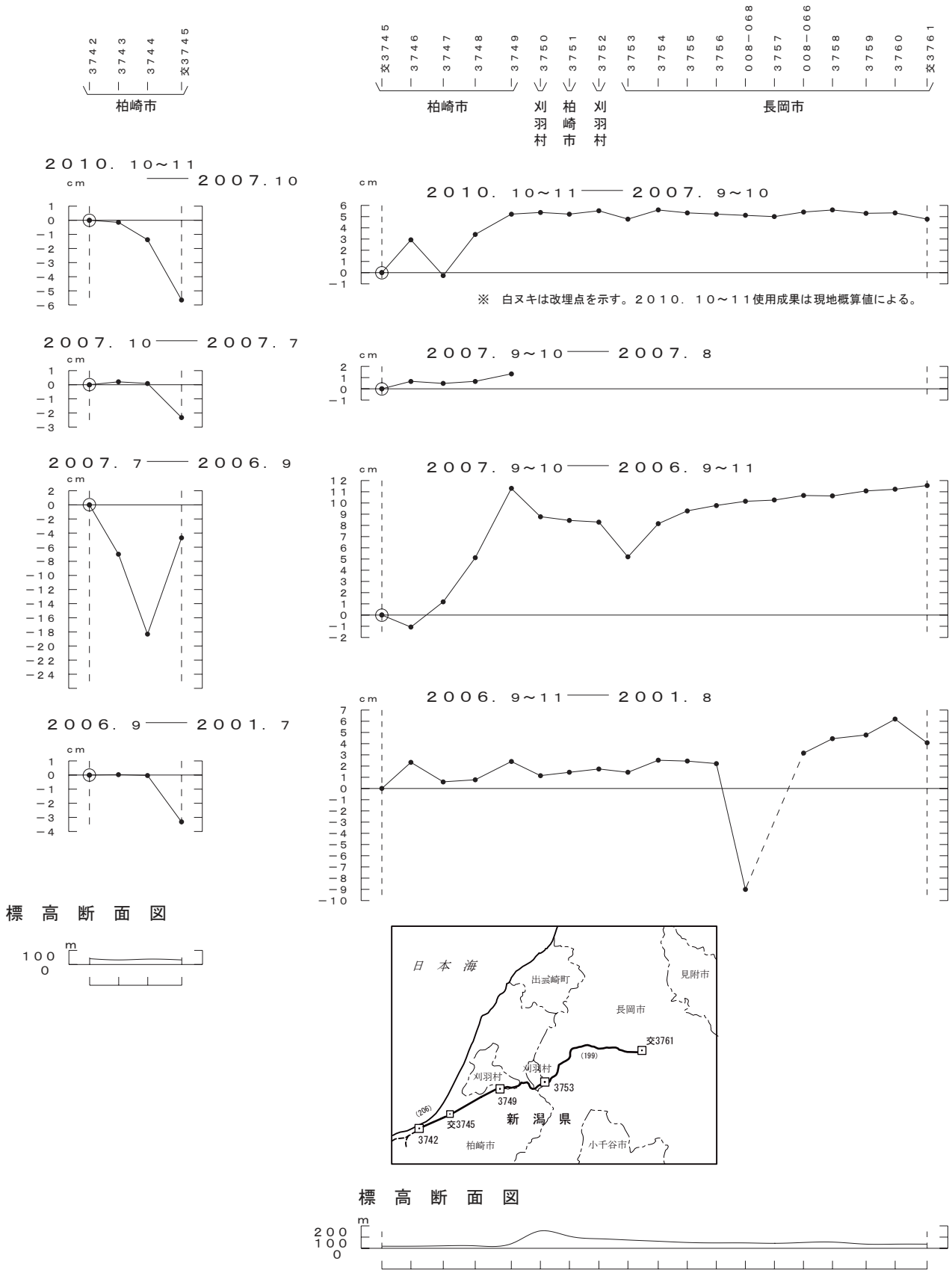
第3図は、富山県の有峰湖地区で行っている跡津川断層をはさんだ光波測距儀による約 2 年ごとの繰り返し辺長測量結果である。右横ずれの変動が継続しているとみられる。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院, 2004, 中部・近畿地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 72, 510-514.
- 2) 国土地理院, 2005, 北陸地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 73, 269-317.
- 3) 国土地理院, 2005, 中部・近畿地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 73, 426-463.
- 4) 国土地理院, 2005, 北陸地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 74, 331-345.
- 5) 国土地理院, 2005, 中部・近畿地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 74, 365-380.
- 6) 国土地理院, 2006, 北陸地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 75, 443-450.
- 7) 国土地理院, 2006, 長岡における絶対重力測定, 地震予知連絡会会報, 75, 451-452.
- 8) 国土地理院, 2006, 北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 76, 446-463.
- 9) 国土地理院, 2007, 北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 78, 424-456.
- 10) 国土地理院, 2008, 北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 79, 403-477.
- 11) 国土地理院, 2008, 北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 80, 374-411.
- 12) 国土地理院, 2009, 北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 81, 483-490.
- 13) 国土地理院, 2009, 北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 82, 341-347.
- 14) 国土地理院, 2010, 北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 83, 393-398.
- 15) 国土地理院, 2010, 北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 84, 334-338.
- 16) 国土地理院, 2011, 北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 85, 265-266.

柏崎市～長岡市間の上下変動

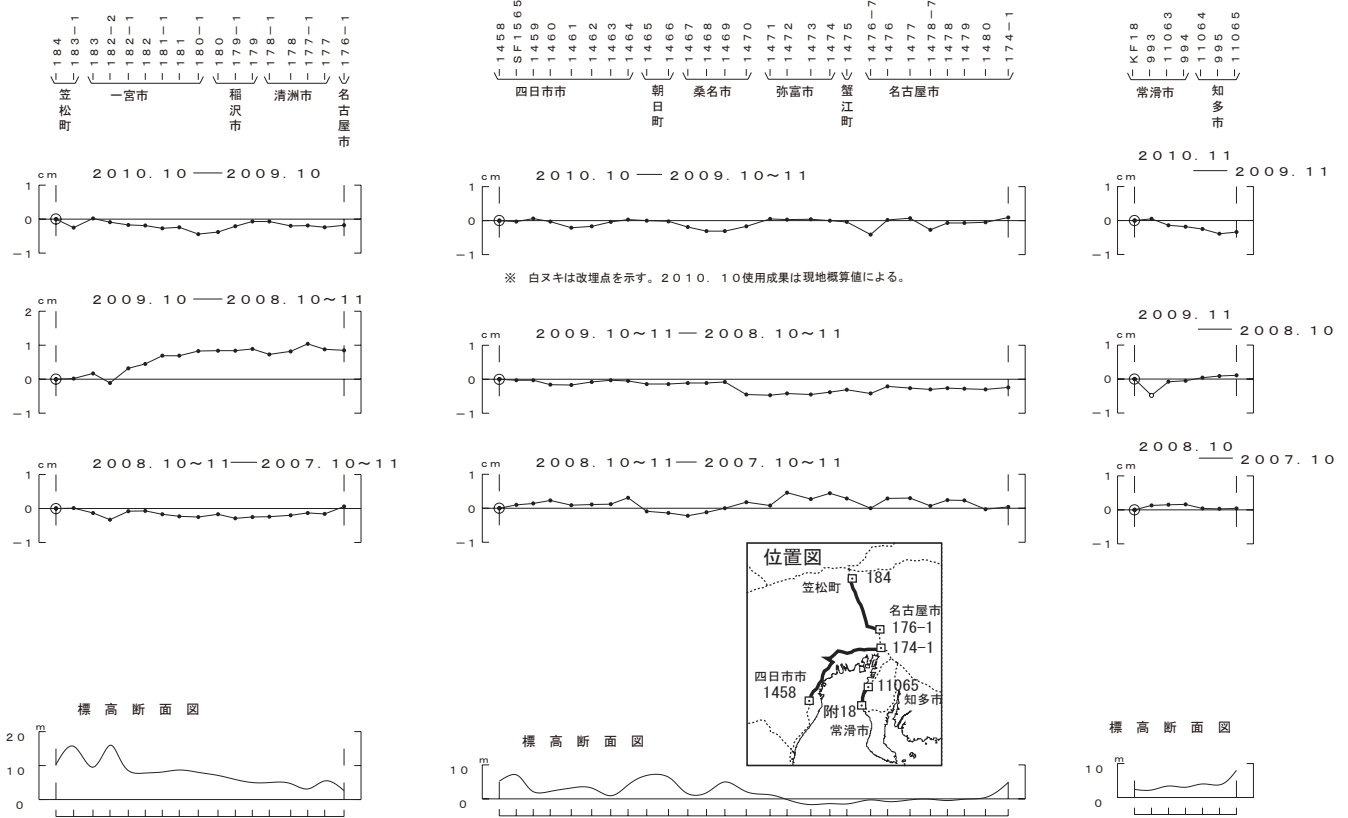
交3745付近で沈下が見られる。



第1図 川崎市～長岡市の上下変動
Fig. 1 Results of leveling survey from Kawasaki city to Nagaoka city.

中京地方の上下変動

特段の変化は見られない。



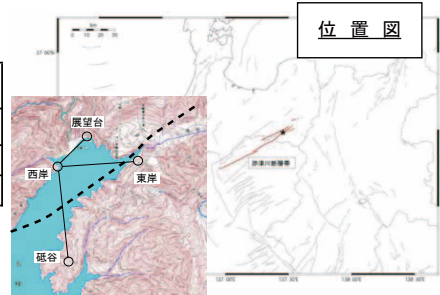
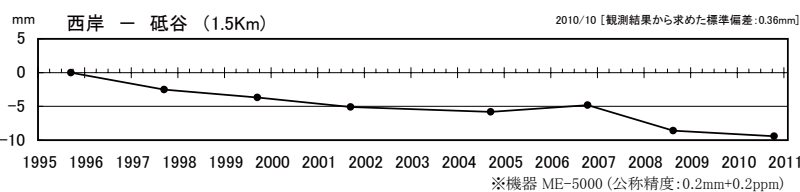
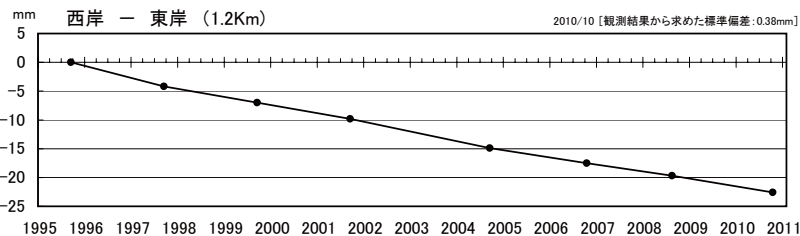
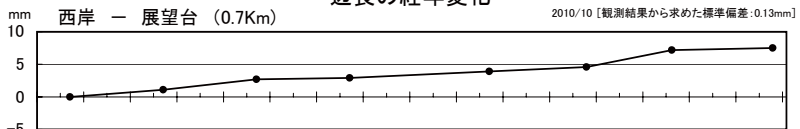
第2図 中京の上下変動
Fig. 2 Results of leveling survey around Nagoya city.

跡津川(有峰湖地区) 変動地形調査測量結果

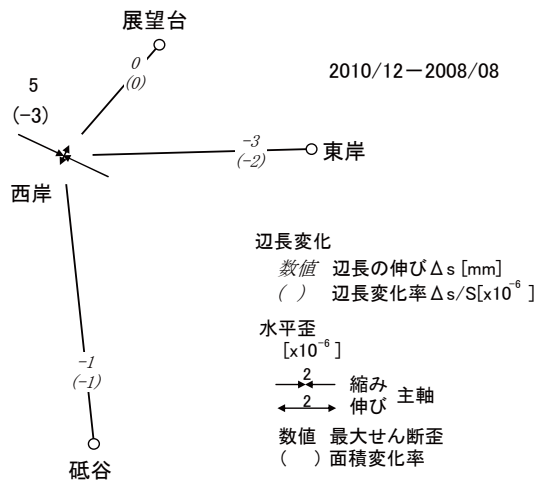
右横ずれの変動が継続している。

区間	測定年月	1995/09	1997/09	1999/09	2001/09	2004/09	2006/10	2008/09	2010/10
西岸～展望台	m	694.477	.4780	.4796	.4798	.4808	.4815	.4841	.4844
西岸～東岸	m	1185.41	.4044	.4016	.3988	.3937	.3911	.3889	.3860
西岸～砥谷	m	1470.69	.6848	.6836	.6822	.6815	.6825	.6787	.6779

辺長の経年変化



辺長変化・水平歪



第3図 跡津川(有峰湖地区) 変動地形調査測量結果
Fig. 3 Distances from EDM survey around Atotsugawa fault.